

令和5年11月12日（日）

（一社）千葉県歯科医師会 口腔がん検診医養成コース

東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座

千葉歯科医療センター 口腔外科

薬師寺 孝

現在わが国では2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで亡くなると言われています。日本における口腔・咽頭がんの2022年の予測罹患患者数は23,200人で、全がんのうち第15番目に位置する比較的まれな悪性腫瘍です。しかし、罹患患者数は増加傾向を示しており、さらに全がん21臓器のうち10番目に低い治療成績（5年生存率63.5%；2009～2011年）です。口腔領域は摂食・嚥下、会話、呼吸など重要な機能を有しており、進展例では治療後の合併症や後遺症により患者のQOLを著しく低下させてしまいます。したがって、口腔がんを早期に発見し、治療することは大変有意義であると言えます。私たち歯科医師は、日常臨床において患者の口腔内を観察する機会が多く、早期癌を発見できる立場であると言えます。本講演では、適切な口腔がん検診のスキルを身につけていただき、口腔がんだけでなく、口腔粘膜疾患に関する知識を再確認し、明日からの先生方の診療、検診事業に役立てていただけたら幸いです。